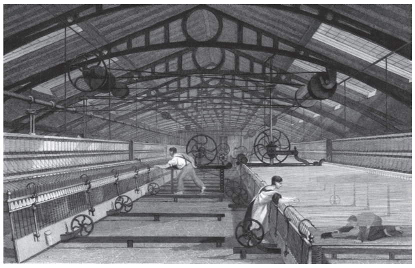
産業革命・資本主義・社会主義

ポイント1　産業革命

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① イギリスの産業革命

資料1 紡績工場



18世紀まで：農業中心の社会
工場制手工業（マニュファクチュア）
↓
18世紀後半：工場制機械工業
紡績(ぼうせき)機・機織り機の発明
蒸気機関の発明

綿糸・綿織物など軽工業製品が安く大量に生産できるようになり，
19世紀の中ごろには「世界の工場」と呼ばれるようになる

産業革命：18世紀後半から**イギリス**で始まった，
工業制手工業から工場制機械工業への変化と
それにともなう産業・社会などの変化

② 重工業の発達

資料2 蒸気機関車

道路・運河の整備
蒸気機関車・蒸気船の製造
↓
人と物の動きが活発になり都市が発展

ポイント2 資本主義

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 資本家と労働者

資本家：資金・工場・機械（=生産手段）を持つ

⇕

労働者：資本家から賃金をもらって働く

資本主義：利益の追求を目的に，

自由に競争しながら生産活動をする経済の仕組み

② 社会問題の発生

貧富の差の拡大：資本家と労働者の間の経済格差が広がる

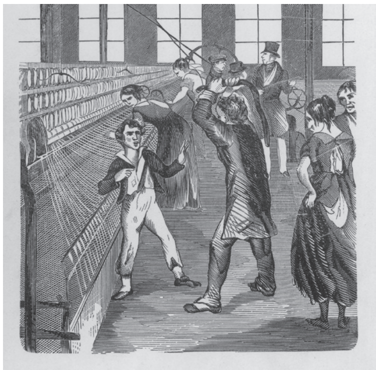
労働環境の悪化：低賃金・長時間労働

女性や子どもも重労働を課される

↓

労働組合の結成につながる

資料3 むちで打たれる児童労働者



ポイント3 社会主義

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 労働運動と社会主義

労働組合を結成し，労働条件の改善を訴える

労働者を保護する法律の制定

社会主義：資本主義を批判

資本主義によって拡大した貧富の差を解決し，

平等な社会を実現しようとする考え方

（マルクスらによって各国に広まる）

② 参政権の拡大

資本家や労働者が政治への参加を求める

イギリス：選挙法を改正し，選挙権が拡大

フランス：社会主義者も参加する政権が誕生

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 世界で初めて産業革命が起こり，のちに「世界の工場」と呼ばれた国はどこか。　　イギリス

(2) 資本家が労働者を雇（やと）い，利益の追求を目的に，自由に競争しながら生産活動をする経済の仕組みを何というか。　　資本主義

(3) 資本家と労働者の間の格差の広がりや，労働環境の悪化を背景に労働条件の改善を訴えるために結成されたものは何か。　　労働組合

(4) マルクスらによって各国に広められた，貧富の差を解決し，平等な社会を実現しようとする考え方を何というか。　　社会主義